



とうきょうとしやかいふくしじぎょうだん

東京都社会福祉事業団

ひがしむらやまふくし えん
東村山福祉園だより

みち
道

へいせい ねん がつ
平成28年 5月

はっこう
発行：

(社福) とうきょうとしやかいふくしじぎょうだん
東京都社会福祉事業団
とうきょうとしやかいふくしじぎょうだん
東京都東村山福祉園

メール mail@higashimurayama-f.org ホームページ <http://higashimurayama-f.org>

しんねんど むか 新年度を迎えて

えんちやう ながた はじめ
園長 永田 元

ことし ひがしむらやまふくし えん ふんかつみんえいか ひと ひと くたいてき と く すす
今年の東村山福祉園は、分割民営化に向けて一つ一つ具体的な取り組みを進めていかなければなりません。

まず、へいせい ねんど かいせつ よてい さと きよせ いこう りようしや
平成29年度に開設される予定の「ひだまりの里 きよせ」に移行される利用者の特性や生活全般の支援ノウハウ、活動プログラム等についてきめ細やかな引継ぎを行っていく必要があります。

また、へいせい ねんど かいせつ よてい きぼう さと ひがしむらやま けんちくこうじ すす
平成30年度に開設される予定の「希望の郷 東村山」の建築工事を進めるとともに、新たな施設で提供 するサービス内容の充実や運営体制の検討整備を着実に 行い、これまで以上に利用者本位のサービスを提供できるようにする必要があります。

さらに、じどうしせつ へいせい ねんど かせつたてもの いてん けんちく じどうしせつ
児童施設は平成30年度に仮設建物に移転しますが、その建築と新しい児童施設の建築やサービス内容・運営体制の整備検討も進めていかなければなりません。

この分割民営化は、今まで誰も経験することのなかった困難な事業ですが、いっぽいっぽやくじつ
この分割民営化は、今まで誰も経験することのなかった困難な事業ですが、一步一步着実に実績を積み重ねて、利用者の皆さんに「安心」・「信頼」・「満足」のサービスを提供できるよう、職員一同力を合わせて頑張りますのでご協力 のほどよろしくお願いします。

ちゃくくにん あいさつ 着任のご挨拶

ふくし サービス課長 まつしま まさのり
福祉サービス課長 松島 匡典

この4月1日から福祉サービス課長に着任した松島です。10年程、医療を中心とした福祉の世界で勤務し、11年ぶりに東村山福祉園に戻ってきました。当時先鞭がついた多くの事業も制度の充実が進み、事業の進め方も、組織支援力のある係長や職員で進めてきた流れから、組織全体の推進力になるまで整備が進んできたことを実感し感動しています。



東村山福祉園の分割民営化はいよいよ佳境に入っていきます。取り組む課題は大きいですが、これをチャンスと捉えて、「安心」「信頼」「満足」の日々のサービスを提供していけるよう、そして皆さんの夢の実現に向けて、ともに頑張りたいと思います。

へいせい ねん ど だいさんしゃひょう か けっ か ほうこく
平成27年度第三者評価結果報告

じぎょうすいしんがかり
事業推進係

ふくし だいさんしゃひょうか ねんど しやうがいじにゆうしよしえん たんきにゆうしよ せいかつがいこ
福祉サービス第三者評価を 27年度も「障害児入所支援」、「短期入所」「生活介護」
の3サービスについて受審しました。評価機関は昨年度に引き続き NPO法人福祉経営ネ
ットワークにお願いしました。ご家族の皆様には、お忙しい中アンケート調査等にご
協力をお願いしました。誠にありがとうございました。評価結果の概要は以下のとおりです。
今後、評価を基に改善計画を策定し、利用者サービスの一層の向上に努めてまいります。

	しょうがいじせつにゆうしよ 障害児施設入所	たんきにゆうしよ 短期入所	せいかつがいこ 生活介護
とくよ 特に良い 点 とおもう点	わ きょうか りようしゃほんい しつ たか ていきょう めざ じぎょうしよない 1 チームとしての和を強化し利用者本位の質の高いサービス提供を目指し、事業所内コミュニケーションに力を入れ取り組んでいる。		
	しえんきろく りようしゃ 2 支援記録システムに利用者 の情報を集約して統計分 析することにより客観的な 評価を支援にいかす取り組みに 着手している。	こ かぞく はな せい 2 子どもが家族から離れて生 活する体験の場、家族のレスパ イトの場として在宅生活を支 えている。	ひと こち 2 その人らしく心地よい 時間を過ごすための支援環 境の整備に尽力している。
	いりよう えいよう しんりなど せんもんしよく 3 医療・栄養・心理等の専門職 とのカンファレンスにより子 ども・利用者の状態変化に迅速に 対応するしくみがあり機能して いる。	じぎょうしよない せんもんしよく がっこう 3 事業所内の専門職、学校 や関係機関とのカンファレンス により子どもの状態変化や 課題に迅速に対応するしくみが あり機能している。	こ こ りようしゃ 3 個々の利用者にとっての 自立を意識し、地域の資源を 有効活用した社会参加を促進 している。
さらなる 改善が望 まれる点	ちゅう ちょうきてき しや と い こべついくせいけいかく さくせい 1 中・長期的な視野を取り入れた個別育成計画の作成とそれによる人材育成に期待した い。	こ じんいんこうせい こべつ 2 子どもの人員構成や個別 状況を考慮し居住環境の 工夫を検討しているためさら なる推進が期待される。	ぎょうむ こうりつか いしき 2 業務の効率化を意識しつつ 利用者の状況や経過がより 明確に把握できるような記録 の充実が期待される。
	へいせい ねんど じ しゃぶんかつ 3 平成30年度の児・者分割 を踏まえ、児童施設として18 歳以降の移行先の開拓にあた っているが、都外等の社会資 源も急頭にすめられたい。	にゅうたいしよじ しよじひん かん 3 入退所時の所持品の管 理方法を見直す等、スムーズな 利用となるよう検討されたい。	ちいき しんらいかんけい きよ 3 地域との信頼関係に寄与 できるようさらなるサービスマ ナーを身につけ実践されたい。

	しょうがいじせつにゆうしょ 障害児施設入所	だんきにゆうしょ 短期入所	せいかつかいご 生活介護
とくちから 特に力を いれて いる取り 組み	1 ちゅう ちょうきてき じぎょうけいかく ふ きょうどうこうどうしょうがいなど せんもんせい きょうか せっきょくてき と く 中・長期的な事業計画を踏まえ強度行動障害等の専門性の強化に積極的に取り組んでいる。		
	2 りようしゃ いこう もと ちいき 利用者の意向に基づき地域 せいかついかう む かんけいきかん 生活移行に向けた関係機関と れんけい かんきょうせいび はか の連携や環境整備を図っている。	2 あ きじょうほうなど にゆうしゅ 空き情報等を入力し くふう りようりつ やすく工夫することで利用率 こうじょう ちいきこうけん と 向上につなげ地域貢献に取 組んでいる。	2 しょくいんかん れんけい り 職員間の連携により利 ようしゃ しゅたいてき たの いち 用者が主体的に楽しく一 にち す にっちゅうかつどう 日を過ごせる日中活動の じゅうじつ はか 充実を図っている。
	3 とりつしせつ しめい にんしき しょうがい ちいきじゅうみん ささ た 都立施設の使命を認識し障害のある地域住民を支える多 よう ていきょう 様なサービスを提供している。		3 かぞく みつ 家族との密なコミュニケー ションにより利用者の豊かな せいかつ こうちく 生活の構築につなげている。

ひょうか しょうさい
評価の詳細は、インターネットサイト「とうきょう福祉ナビゲーション」または園内
だんわしつ えつらんよう ほうこくしょ らん
談話室の閲覧用の報告書でご覧いただけます。

〇とうきょう福祉ナビゲーション <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>

しんがっき 新学期がはじまりました

サービス第2係

ひがしむらやまふくしえん はる めい こ げんき
東村山福祉園では、この春48名の子どもたちが元気に
がっこう かよ はじ
学校に通い始めました。
こんねんと しょうがくぶしん ねんせい めい ちゅうがくぶしん ねんせい めい
今年度は、小学部新1年生1名、中学部新1年生が2名、
こうとうぶしん ねんせい めい にゅうがくしき お あら
高等部新1年生が4名の7名が入学式を終えて新たな
かんきょう せいかつ はじ
環境での生活が始まりました。みなさん緊張した面持ちの
なか にゅうがくしき しゅっせき
中、入学式に出席されていました。
ことし めいひとりひとり せいちょう み
今年は48名一人一人が、どのような成長を見せてくれ
るのかとても楽しみです。



サイボクハム・イチゴ狩りに行ってきました

サービス第3係



がつ にち こんねんだい かいめ がいしゅつ さやま
5月10日、今年度第1回目のバス外出として、サイボクハムと狭山ベ
りーランドに総勢29名で行ってきました。サイボクハムに到着後、利用者
みなさま ない さんさく あと ちゅうしょく たの
の皆様はエリア内を散策した後に、レストランサイボクで昼食を楽し
れました。その後お土産などを購入し、メインイベントである狭山ベリ
ーランドに行きイチゴ狩りを行いました。イチゴはとても美味しく、50
こほどめ あ りようしゃさま らいねん ぜ ひ き おも
個程召し上がった利用者様もいました。また、来年も是非来たいと思
いました。

利用者アンケートを実施しました

事業推進係

園では利用者の皆様の率直な意見を伺うことまたは意思を模索することを通じて、利用者の方への理解を深め、サービス向上や改善に役立てていく取り組みを行っています。

26年度に試行で実施したことに引き続き、27年度も入所利用者の皆様を対象として、「園の生活で好きなことはどれですか」というテーマで、利用者アンケートを実施しました。

棟職員が利用者様の個々の状況に応じて問いかけを行い、利用者様の意向を把握するという方法で調査を行いました。

26、27年度の結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

【調査内容】 園の生活で好きなことはどれですか。(複数回答可)

選択肢：①バスハイク ②ドライブ ③テレビ(DVD)鑑賞 ④棟庭活動

⑤演奏会(コンサート) ⑥買い物 ⑦音付き絵本(26年度は①～⑥の選択肢で調査)

【調査結果】

(人数)

	27年度		26年度	
1位	バスハイク	118	ドライブ	87
2位	ドライブ	111	買い物	76
3位	買い物	103	バスハイク	73
4位	テレビ(DVD)鑑賞	55	演奏会(コンサート)	55
5位	音付き絵本	50	テレビ(DVD)鑑賞	43
6位	演奏会(コンサート)	44	棟庭活動	23
7位	棟庭活動	34		



※利用者様の意向の把握方法(複数回答可)

(人数)

	27年度		26年度	
1位	日常の様子から推測して記入	110	写真・絵カード	74
2位	表情(仕草)	58	日常の様子から推測して記入	72
3位	写真・絵カード	56	会話	38
4位	会話	43	表情(仕草)	37
5位	その他	3	その他	3

それぞれ貴重なご意見として受け止め、今後外出の機会を増やす等対応を検討させていただき、利用者ご本人の希望や意向の実現に向けて支援を行ってまいります。ご協力誠にありがとうございました。

今後の予定

今年の東京都東村山福祉園祭は9月24日(土)開催予定です!ぜひお越しください。